

第392回 難研セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 平成 19年 7月 27日（金）18:00～20:00

場 所： 難治疾患研究所 [駿河台地区] 2階セミナー室

演 者： 山岸敬幸 講師

（慶応義塾大学医学部小児科学教室）

演 題： 心臓大血管の分子発生学のトピックス

要 旨： 高等動物の心臓発生は、いわば進化によって生み出された自然の芸術であり、時間的・空間的に秩序だった多く複雑な過程によって成立する。この複雑な過程は、次の重要な領域・段階別に考えると理解しやすい：1) 原始心筒の looping と左右心室、2) 心内膜床と房室弁、3) 心室筋および中隔、4) 左右心房および中隔、5) 心臓流出路、6) 大血管と冠動脈、7) 刺激伝導系。日常診療で遭遇する多くの先天性心疾患は、これらいずれかの領域の特異的な発生異常である。したがって、これらの領域・段階を解析する「分子発生学」は、先天性心疾患の成り立ちを理解するための科学として重要である。最近、心臓の各領域の発生にはいくつかの由来の異なる前駆細胞が協調的に働き、転写因子、シグナル伝達分子などをコードする多くの遺伝子が関与することが判明してきた。例えば、原始心筒を形成する細胞以外に、咽頭弓中胚葉に由来する心筋前駆細胞が存在することが明らかになり、「二次心臓領域」と名付けられた。私たちは、二次心臓領域に発現する転写因子 Tbx1 に注目し、その発現制御機構を解明してきた。これらの研究成果により、心臓の発生および先天性心疾患の発症機序に新たな概念が誕生している。

連絡先： 難治疾患研究所 生体情報薬理学 古川哲史（内線 8070）

共催分野： 難治疾患研究所 発生再生生物学分野 仁科博史（内線 4659）